



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 山本 眞

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第457号 2017年10月29日発行

11月1日は、聖人として歴史上名を残すことのない人々も含めキリストのうちに人生の意味を発見し、生き、死んでいった方々を想起し記念する諸聖徒日です。教会から聖人と呼ばれることもなく、自ら命を絶つたことで柩を運ぶ車も貸してもらえず、牧師から葬式の祈りを捧げてもらうこともできなかった一人の画



家の半生から、彼もまた聖人の一人であったのではないかとの思いがよぎります。
俳人高浜虚子が「ひまわりが好きで狂いて死にし画家」と詠んだフィンセント・ファン・ゴッホは1853年オランダの小さな町に生まれます。父親は牧師で、説教が下手ということで田舎にばかり転任させられます。ゴッホは中学

を出るとグーピル商会という画商に雇われますが、気難しい無口な彼が商人に向くはずもなく結局解雇されてしまいます。ゴッホはロンドン近くの教会付属学校の語学教師になります。そこでも貧しい生徒の親たちから授業料を取り立てることができず、貧しい親に集金してきた金を用立ててしまい解雇されてしまう

ての人生を歩み、精神を病み、自分の心臓にピストルを撃ちこみ自死したことはよく知られた事実です。弟テオに「悲しみは生きる限り続くね」と語り息を引き取っていきました。37歳の短い生涯でした。ゴッホは伝道師として炭鉱で、つらい労働に赴く少年少女、婦人たちを見て徹底的に

は財布も袋も靴も持つなど言われたではないか」ゴッホはそう考えます。町をチフスが襲い、多くの人が病に倒れた時、ゴッホは食事でも睡眠も摂らず、ひたすら看病にあたりました。炭鉱爆発の時も彼は包帯を作るために自分の下着をすべて引き裂き包帯を作ります。死にゆく人々、見捨てられた人々の上にかがみこんで彼らの喘ぎに耳を傾けていました。この先鋭化した姿勢が結局彼を伝道から追放することになってしまふのです。ゴッホを追放した村の牧師は追放後「我々は彼を気が狂った人と思っていた。しかし、ひよっとするとあれは聖者だったのだ」と語っています。ベルギーの炭鉱であったかもアッシジのフランシスコのように自分を捨て、キリストへの服従を使命とした無名の伝道師の姿にもう一人の聖人の姿をみる事ができるので

諸聖徒日 —— ゴッホに聖人の姿を見る

司祭 オーガスチン 杉山 修一

のです。この後ゴッホは父に「牧師になりたい」と申し出、アムステルダムで神学の勉強をし、やがてベルギーの炭鉱町で伝道を始めます。しかし、ゴッホの常軌を逸するような献身的な働きを「行きすぎ」と判断した伝道委員会は彼から伝道の許可を取り上げてしまうのです。挫折したゴッホがこの時から画家とし

ろうとします。夜は子どもの勉強を見、最も貧しい人々に自分の衣服も食べ物もすべて分け与えるのです。初め炭鉱の人は彼を見てあざけります。がひるむことはありませんでした。何もかも彼は人々に与え、自分はわずかなパンと蜂蜜があれば足りたのです。彼はいつも裸足でした。靴はぜいたくと考えたのです。「主

(すぎやま しゅういち・プール学院理事長、東京教区司祭)

教区礼拝

396人が清心館に集い、喜びとともに祈る

式典長 司祭 ヨハネ 古澤 秀利



2017年の大阪教区礼拝は、9月24日(日)の午前10時半からプール学院清心館にて開催された。今年は「喜びをもって」というテーマで礼拝が行われ、公会暦の日課によらない「喜び」を想起させる箇所(旧約聖書(出エジプト記14:10-25)、詩編(8:1-8)、使徒書(フィリピの信徒への手紙1:21-28)、福音書(マタイによる福音書28:1-10))が主教によって選ばれ、「一味違う生き方へ」喜びをもって」と題された

説教がなされた。出席者は396人。信施は、聖公会生野センターと神学生養成資金へ283,098円(それぞれ141,549円)が献げられた。昼食後はカフェテリアにて、教役者がコーヒー・紅茶を淹れ給仕を務める「喜びカフェ」が行われ、約130杯の飲み物を提供した。並行してカフェテリア外の「レング広場」では恒例のキッズ広場が開催され、グループ(大阪教区青年会)とキッズフェスティバル・スタッフそして京都教区

青年がゲームを中心にプログラムを進めた。子どもたちはもちろん、多くの大人も楽しい時間を過ごした。13時半からはカフェテリア奥のラウンジにて、「他の教会を知り・交わる」ためのプロ

教区礼拝
主教説教

喜びをもって

主教 アンデレ 磯 晴久

グラムが行われ、約50人が参加した。「自己紹介ゲーム」や京都、大阪教区の「教会場

所当てクイズ」の他、大阪教区22教会の画像での紹介がなされた。また、参加者やスタッフによる「台湾聖公会協力宣教キャンプ報告」、「小学生キャンプ報告」、「J'S キャンプ報告」、「キッズフェスティバル報告」、「京都・大阪教区特別協働教区関係調印式報

今日、私たちは「喜びをもって」という主題の下、プール学院清心館に集められました。私たちが大阪教区というチームの一員であること、チーム・イエスの一員であることを確認するためです。使徒書フィリピの信徒への手紙をご覧下さい。パウロがフィリピの信徒たちに宛てられたこの手紙は、「獄中書簡」と呼ばれています。それはパウロが牢獄に監禁されていた時に書かれたからです。しかし獄中書簡でありながら、本書の中には、「喜び」ということが繰り返し出てきます。

短い手紙ですが、15回も出てくるので、「喜びの手紙」とも呼ばれています。「獄中」と「喜び」という相反するところが、パウロという一人の人間の中で、一つの事実となっていることは、不思議なことではないでしょうか。パウロの喜びとは一体どういうことであつたのでしょうか。皆さまは「喜びをもって」と聞いて、どうお感じになりますか。「喜びをもって」いつも生きる、それは難しいですよ。私たちの生活の中には、つらいこと、がまんならないこと、いやなこと、腹の

立つこと、傷つけられること、裏切られることなど、人間の弱さや罪への傾き(神から離れているために起こる)が生み出す嫌なことが沢山あります。喜べないものが私の内と外にあります。

そうした人間の現実の中で、しかも牢獄の中で、パウロは喜びをもって生きています。フィリピ1:21節「わたしにとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益」とあります。キリストがおられるので、もういつ死んでもいいと言っています。苦しみや悩み多い、自分の弱さや罪への傾きにがっかりすることの多い人生の中で、キリストが私のところに来てくださって、私と一緒にいて下さることを

(次頁3段目につづく)

神学生を囲む集い

出会うの場をめざして

司祭 クリストファー 奥村 貴充

8月27日の午後、神学生を囲む集いが西宮聖ペテロ教会を会場に開かれ、全員で103人が参加しました。

今回はヒューム ユーワン神学生の希望により、家族のかかわりや神学校での研鑽、実習の様子などの発表がありました。また今年度よりウィリアムス神学館に入学した山本直樹神学生は、自分にとっての聖公会の信仰や礼拝の意義について発表されました。



今年は神学生と信徒・教役者がよく知り合う出会いの場となるように工夫を凝らししました。その1つとして発表はもちろん、ゲームであらかじめ用意した6つの質問に対し、サイコロの出た数字に従って神学生が答えていくという内容にしました。例えば「寮生活でつらいと感じたこと」や「今年の夏の楽しかった思い出」などにそれぞれが回答し、神学生の人柄が伝わってくるようにしました。

また第2部として神学生の司式、内田司祭の説教による夕の祈りを行いました。この礼拝の中で献げられた信施57,115円は「大阪教区神学生後援会のため」に用いられます。こうして神学生を囲む集いの担当をしてみると、いかに自分が祈られ、支えられていたかを改めて実感する思いでした。これからも神学生のために祈り、支えていく

(前頁よりつづく)

パウロは喜んでいます。それはキリストの十字架の出来事が示していることです。私たちが「またしでかしてしまいました」と嘆く時、キリストは言われます。「大丈夫だよ、私も十字架を背負う道で3回も倒れたのだから」と。十字架の出来事の後、復活の出来事が起こります。

キリストが死を乗り越えて再び立ち上がったように、私たちにもキリストの復活に与る者とされるのです。キリストは喜べないものを内と外に持つ私の所に降りて来て下



共同体でありたいと思っています。そのためにはお互いが出会い、よく知り合うことが

さり、共にいて働いてくださること、それがパウロの第1の喜びでした。そしてイエスは、今も私と共にいてくださいます。

パウロの喜びの2つ目は何でしょうか。それはパウロの心とフィリピの人々の心が、キリストを中心につながっていることを、実感しているところにある。朝日新聞、驚田清一さん「折々のことば」(9月21日号)で、「食事は独りであるより誰かと喋りしながらするほうが旨い。幸せは、自分が満ち足りるというより、誰かと喜びを共有するところにある」とありました。

喜びは誰かと共にあることを感じるところにあります。教区礼拝に集まる理由の一つは、時空を超えて私たちがつながっていることを実感するためです。

フィリピ一章を読んでみると、パウロは「あなた方のことを思い起こす」「心に留めている」「どれほど思っ

大切です。来年もこうした会が開かれるよう、祈り求めていきたい所存です。

いるか」「あなたがた一同のために祈る」と語っています。単に思っているというのではなく、日々相手の名を呼んでとりなして祈っているということ。パウロはフィリピの教会の一人ひとりのために祈っています。三浦綾子さんが「人々に祈って頂きたいという、人の信仰をあてにしているのが、わたしの信仰である」と書いておられます。私のために祈ってくれる人がいて、その祈りによって、私の信仰が支えられているというのです。パウロの喜びは、フィリピの人々と祈りによってつながり、共にあることを実感していることにありました。今大阪教区で、私たち教役者と信徒・求道者の方が祈りによってつながっているか。祈りの包囲網によって支え合っているか。教区礼拝は、そのことを目に見える形で実感し、確認する場だと思います。父と子と聖霊のみ名によって

アーメン

(おくむら たかみつ・大阪聖贖主教会牧師、教区神学生後援会常任理事)



教会奉仕者および教職への道セミナー

会場…カトリック御受難修道会宝塚黙想の家 8月10日～11日

伝道者フイリポ 西村 和樹

この度、古本みさ先生に勧められて、聖職への道セミナーに参加させていただきました。講師のお二人のお話で特に印象に残っているメッセージは、大岡左代子司祭の「人はみな生きていてよい、愛され大切にされてよい」という想い、小西宏平君の、青年活動を通じて「分かち合い共に生きる教会の輪を広げていき

たい」という想いでした。私自身、宏平君が代表を務めるU26全国集会（全国の18～26歳の青年の集い）の運営委員をさせていただいており、また、聖職への道を見つめる者として、「一人ひとりの違いが否定されることなく、分かち合い受け入れ合える場を支えていきたい」という想いを持っています。この度の黙想

会を通して、たくさんの心の糧を得ることができました。これからも、度々弱められることもあると思いますが、主を、自分を、隣人を愛し、大切に想いながら生き、歩みたいと思います。主の助けによって。

（にしむら かずき・京都教区桃山基督教会）

広島平和礼拝

韓国からの参加者も得て 被爆体験を次代へ伝える

ヨハネ 山口 善彦

広島平和礼拝に行ってきた。毎年、One Step Forwardのうちわが配られます。

2004年沖縄の旅で、広島で平和を考える根拠がある

のではとのアドバイスを得て、広島平和礼拝が始まった（小林尚明・神戸教区主教）そうです。目的として3つのことが挙げられています。①原爆犠牲者を追悼し、世界の平和

のために祈る。②次代を担う人たちに原爆の悲惨さ・戦争の愚かさを伝える。③「主の平和」を学び、その実現のために活動する。

管区を始め全教区から参加

され、特に今年は日韓聖公会青年セミナーと同時期で、韓国からも17人の参加者があり、総勢220人以上、とのことでした。

今年の被爆証言は、増田遥さん（1934年生まれ、元観音寺高校・広島女子短大の音楽教師）による「母の被爆体験を通じて」と題しての講演でした。ご自分の音楽活動（声楽と指揮）を主として話されました。旧制広島二中一年生全滅の記録を基にした「レクイエム 碑」を歌われたビデオは感動的でした。分かち合いでは、若い人達から次代に伝えることについて活発な意見が出されました。

ヒロシマ原爆死没者記念聖餐式の代祷の一つ「ヒロシマ平和礼拝に携わって下さった逝去者を覚えて祈りましょう」のなかで、パウロ井上進次司祭がその一人に挙げられていたことは、教区にとって名誉であり誇りだと思いました。礼拝堂の内外に被爆直後の生々しい写真が展示されていました。何かの機会に大阪教区でも展示して欲しいものです。

2017年7月7日は記憶すべき日です。国連会議で「核兵器禁止条約」が採決されました。広島・長崎の被爆者が先頭に立って運動されてこられた成果です。被爆国の日本は条約会議に背を向けました。

東京電力福島第一発電所の事故から6年半経ちました。この事故で東電と国は Fukushimaをはじめ近隣の人たちを核攻撃しました。結果に対して誰も責任を取りません。私たちはと言うより私たちが、こんな国を作ってきました。

私たちは「宣教の5指標」を背負っています。4番目に「社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追及すること」とあります。しんどいことです。今回の平和礼拝実行委員長ヨシユア長田佳史司祭が、次のマザーテレサさんの文章を紹介されています。「私たちのしていることは大海の一滴に過ぎません。だけど、私達がやめたら確実に一滴が減るのです」

（やまぐち よしひこ・大阪聖三一教会信徒）

台湾聖公会降臨堂主催のキャンプに参加

宣教活動は

相手に力を与え、私たちも力をもらう

グレース 重政 恵

セシリア 田中 潤子

マルコ 松尾 和祈

大阪教区に属する私たち3人は、8月17日、26日の10日間、台湾聖公会降臨堂主催の協力宣教キャンプに参加しました。前半は降臨堂に滞在し宣教活動の準備を行い、後半は高雄にある李おばさんの個人宅に滞在し地域宣教を行いました。

前半の主な活動は、長歳生命ケア・センターという老人ホーム、平安居というホームレスの人をケアしている施設を訪問。讃美歌を歌い、劇をし、讃美歌に合わせて体操を行い、宣教活動の準備と練習をしました。また参加者で証しをすること、他の人がどのような

に今まで生きて来て、教会に行くようになったのか、それぞれのことをより深く知ることができ、とても有意義な時間でした。降臨堂チャプレンの張員榮司祭も証をすることは、自分自身がいかに神様に支えられて生きてきたかを再確認できるよい手段だと話

されました。

後半の主な活動は、二集園という老人ホームの訪問で、初めて人前で宣教活動をしました。また、原住民の資料博物館を見学。ブヌン族や他の部族の歴史、文化、民族衣装について説明を受け、同じ台湾でも文化や言葉が異なり、顔もだいぶ異なってくるのでとても興味深いものでした。そして、桃源の教会の子どもたちへの宣教活動。子どもたちは讃美歌も賛美体操も想像していた以上に楽しんでくれ、元気で明るく素直な姿にこ



平和は武力では実現しない

平和は、今日の私たちに

とって切迫している大問題です。日本の近代美術史に大きな足跡を残した方に、柳宗悦がいます。傑出した美術家で、宗教哲学者でもありました。彼は1920年頃、日本が韓国を侵略・支配しようとしていた日韓併合の時代に、「朝鮮の友に贈る書」という書物

を記しています。その中にこういう一文があります。「私は武力や政治に少しだに信仰をもたない。それは国と国を結びはしない。人と人を近づけはしない。古往今来これらの道を通して内から愛し合った国と国とがどこにあるう。政治や軍力の平和は、利害の平和に過ぎない。さもなくば強制の平和に過ぎない。…一

国の名誉を悠久ならしめるものは、武力でもなく政治

でもない。その宗教や藝術や哲学のみである」柳さんは、また「平和は武力によって決して実現されない。平和はそれぞれがその宗教や藝術、文化を知り、受け入れ合うことで実現される」とも言っておられます。現代の指導者たち、政治家たちに広い視野を持っている人は少ないように感じます。それぞれの国、民族や

共同体について、宗教、哲学、芸術、歴史などから論じられ、受け入れ合う世界になりますように祈りましょう。十字架の前に兵隊たちに捕らえられようとする時、主イエスが弟子たちに語られた、「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26:52)。聖書の名言を心に憶えつつ。

(主教アンデレ磯晴久)

らも元気をもらいました。また、六亀有機農場のキクラゲを栽培するための土台作りを手伝った折には、5つのグループにわかれて、地域の人の家庭を訪問。多くの人が3年前の台風被害で家も財産も失い、大変な想いをされた人たちでした。

9日目に降臨堂に戻り、最終日は今までの活動の振り返り、活動で感じたことなどを共有しました。私たち3人が

(次頁につづく)



大阪教区の参加者 3 人と同行のスタッフ

(前頁よりつづく)

感じたことは、台湾の人達のやさしさでした。張司祭はじめ、学生、先生方、また高雄でお世話になったシスター、李おばさん、すべての人が私たちに優しく接してくれました。言葉は違いますが、心から何かを伝えようとしてくれる、そうしたとき言葉なんて関係ないと思いました。また、宣教活動を通して出会った人たちの明るさにも感銘を受けました。過去に大きな被害を受け、今もなお苦しんでいる人でも、毎日の生活に満足し神

様に感謝し、お祈りし続けている姿に感動しました。つらい状況のほすだけ、それを感じさせないような現地の人の笑顔に私たちが力をもらいました。宣教活動とは、私

たちから相手に力を与えると同時に、私たちも力をもらえるのだと思いました。そして、たくさんの方に出会いがあり、いろいろな人の考え方に触れ、私たちの視野も広がりました。張司祭が最後に言っておられた「宣教活動はこの10日間

で終わるのではなく、今後の生活に活かす」のだという言葉を心に置いて、私たちがこれから歩んでいきたいと思っています。また来年は台湾の学生が大阪に来てくれます。このつながりを大切にしてまたみんなと出会うことを願っています。

(しげまさ めぐみ・庄内キリスト教会信徒)
(たなか じゅんこ・堺聖テモテ教会信徒)
(まつお かずき・東豊中聖ミカエル教会信徒)



ルカ 柳原 健之

8月2日からの3日間、北小松のキャンプ場にて小学生キャンプが行われ、今年31人の子どもたちが参加してくれました。

主題聖句「『今日』という日のうちに日々励まし合いなさい」(ヘブライ3:13)から導き出されたテーマ、「アブリボワゼ」新しく絆を結び、5月から準備を進めてきました。この不思議な響きを持つ言葉からおむすび

を作って友達に渡すプログラム、キャンドルボードで「アブリボワゼ」の文字を作成して火を灯すなどのプログラムが生まれました。プログラムを通していく中で徐々に子どもたちの中に「アブリボワゼ」という言葉が染み込んでいったように思います。キャンプのテーマが憶えられるということです。今年は特に大成功だったと言えます。

各教会に「ふりかえり」が届いていると思います。が、そこには参加者それぞれの心に残ったこと、新しく絆を結んだことが記されています。ご一読していただければ幸いです。今回キャンプを支えてくださった全ての方に感謝いたします。

(やなぎはら たけゆき・京都教区教育部小学生部門 聖職候補生)

◎ ◎
京都教区 福井 浩介

この楽しかった3日間・今回のキャンプのテーマ「アブリボワゼ」でたくさんの人と

さすなを結んだり、心を繋げたりする今回のテーマは最高。さらにたくさんの人と友達になれて良かった。このキャンプで最後だけ、また中学生になったら、J'sキャンプに行きたいな。今回のキャンプで一番心に残ったのは、キャンドルボードづくり。みんなで協力してぶじに作れた。

(ふくい こうすけ・福井聖三一教会6年)

◎ ◎
大阪教区 ポウラ 山崎 怜

この3日間は、私にとってすごく楽しかったです。とくにびわこで泳いだ事です。2日目の水泳の時は波が高くて、すごい楽しかったです。そして、色々なプログラムをみんなできた事が一番うれしかったです。1号キャンビンとグループ「BBQでワッショイ」のみんな3日間ありがとう!! また来年も小学生キャンプに参加したいです。

(やまさき れい・石橋聖トマス教会4年)



アンデレ 松山 健作

8月8日～10日まで北小松キャンプ場で中高生のJ'sキャンプが行われました。予定では7日から開催でしたが、台風のため2泊3日のキャンプとなりました。「もうちょっとケリユグマ」というテーマで始まったキャンプ。その意図は、私たちが日々神さまから受けている良き恵みを共に分かち合いたい、み言葉に聞き、互いに受けたものを語る所から始めたいという思いの

もとテーマが決まりました。J's キャンプは、中高生が自らプログラムを考え、楽しい時間を過ごします。しかし、28人の参加者の意見を集約するのは至難の業です。その中で

お互いの意見を尊重し合い、キャンプを作り上げてくれた中高生のみなさんに拍手を送りたいと思います。礼拝、水泳、食事、ゲーム、キャンプファイヤー、大切な分かち合いのすべてのときに神さまがいてくださいました。笑いもあれば、涙もある。互いの思いを大切に話し合う中高生の姿は、希望の光を放っているように見えました。J's キャンプのためにお祈りくださったみなさまに感謝を申し上げます。ありがとうございます。

(まつやま けんさく・教育部J's部門 聖職候補生)

テレーズ 吉村 真綾

今年で6年間最後の夏のJ's キャンプ。今まで5年間は大淀キャンプ場でしたが、今年は私たちの目標でもあったキャンプパー20人をはるかに超える28人という多さゆえ、北小

松でのキャンプでした。また台風直撃のため1日減ってしまい、環境も変わり少々混乱はあったものの、とても楽しい3日間を過ごすことが出来ました。

私がずっと教区のキャンプに参加しているのと同じように、私の母も若い頃キャンプからスタッフまで教区のキャンプに参加していました。母がキャンプだった頃の友達、スタッフをしていた時のキャンプパーや仲間とは、今もずっと良い繋がりを持っています。それがとても素敵だと思います。私も毎年J's キャンプに参加してどんなメンバーは変わっていくけれど、ずっと連絡を取り合ったり、何かある時にはみんなで集まったりと色々な繋がりを大切にしています。正直、小学生キャンプのメンバーはあまりはつきり覚えていません。しかし、J's キャンプでは自分たちで話し合い、一人ひとりの意見を大切に、時にはぶつかり合いながら色々なことを決めていくので、メンバーそれぞれのことをよく理解して分かり合う必要があります。なので、

毎年違うメンバーであっても新鮮に色々なことを覚えていきます。ここがJ's キャンプの素敵なところ、良いところだと思います。

この6年間で私はJ's キャンプによってたくさんの事を学び、経験し、素敵な出会いをして、何にも変えられない素晴らしい思い出がたくさんできました。神さまによって導かれたこの出会いや繋がりをこれから先も大切に、また次の世代にどんなに伝えていこうと思います。

京都教区・大阪教区の中高生のみなさん、J's キャンプで会えるの楽しみにしています！

(よしむら まあや・京都教区・京都マリア教会 高3)

サムエル 小松 虎ノ介

今回で僕がこの夏のJ's キャンプにキャンプパーとして参加するのは最後。みんなを引っ張っていく大変さや達成感が少しだけわかったような気がします。

台風で1日減った上にもともとするつもりがなかった副

キャンプ長になり、最初は「本当にみんなにとって満足なものにできるのか」と不安でしたが、僕が仕事ができなくて困るほどみんながすすんでテキパキ動いてくれたのでなんとか3日間を終えることができました。

最後の振り返りでは、このキャンプに後ろ向きな印象を持っていた人たちも「来てよかった」「楽しかった」と言ってくれて、僕自身本当に参加してよかったと思うことができました。

僕はこのJ's キャンプに春と夏合わせて7回参加しましたが、不思議なことに参加するたびに学ぶことが多く、僕も最初と比べれば大きく成長できたのではないかと思っています。

次は春、僕は受験があるので行けるかどうか分かりませんが、もう参加したことがある人も、まだない人も本当に楽しいので是非来てみてください。よければそこで会いましょう。

(こまつ とらのすけ・大阪教区・石橋聖トマス教会 高3)

第48回高野山夏期講座を受講して

ガラシヤ 卯野 公子

朝毎の祈り「主よ、朝ごと
にわたしの声を聞いてくだ
さい。」(詩編5編4節)

第48回部落解放・人権夏期
講座が、8月23日(水)〜25
日(金)、高野山大学を会場
に開催された。主催は「部落
解放・人権夏期講座実行委員
会」で「大宗連(同和問題に
とりくむ大阪宗教者連絡会
議)」はその構成団体となっ
ており、大宗連から7人、日
本聖公会大阪教区からは大阪
聖ヨハネ教会で夏期実習中の
ヒューム ユーワン聖職候補
生と私が参加した。

講座1日目の全体講演「相
模原事件が問いかけるもの」
は特に興味深くお話を聞いた。
講師の野澤和弘氏(毎日新聞
論説委員)は内閣府障害者政
策委員を20年務め、ご自身も
自閉症の子どもを抱えている
体験をもとに、相模原事件(2
016年7月26日)について
厚生労働省と神奈川県警の検

証で明らかになった動機など
を踏まえて問題提起された。

厚生労働省の検証、精神科医
療に委ねた現状と警察行政メ
ディアのあり方や被害者に関
する報道のことなど。私の一
番の関心は重度障がい、発達
障がい、知的障がい、生きる
ことの重さ、コミュニケーション
の厳しさであった。

私自身の親族にも同様の障
がいがあり、聞くに堪えない
罵声、さげすまれた幼児期
学童期を過ごし、私には今も
トラウマが残る。しかし、姉
の人生の尊厳、内面世界への
畏れをないがしろにしてきた
ことは辛く悲しい事実。姉の
涙と本当の声を神様が教えて
くださったのは今回の受講だ
った。主に感謝します。

また、ヒューム ユーワン
聖職候補生が素晴らしい働き
をされた。23日夕食後に親睦
会に招かれ、ヒュームさんのお
かげで身近な国際交流の

きがもたれた。自己紹介では
その場の空気が変わり盛り上
ったところで消灯。宿坊に泊
まり、翌朝、寶善院大本堂朝
のお勤めに参拝された。日本
人は皆胡座なのに、異文化に
対峙され正座の姿勢でとても
ご立派だった。最終日の全体

講演「過労死」が終わった頃、
ヒュームさんから「大阪に着
きました今回の講座とても素
晴らしくよかったです」のメ
ールを拝受した。世界遺産の
素晴らしい環境の中で、有意
義な受講をさせていただきあ
りがとうございました。神様

のご加護に感謝申し上げます。
「主をたたえよ、嘆き祈る
わたしの声を聞いてください
ました。」
(詩篇28編6-7より)
(うの きみこ・東豊中聖ミ
カエル教会信徒)



Gグループ報告

城南キリスト教会で

2班に分かれて活動

フランチエスコ 香山 由希

9月24日(日)城南キリス
ト教会にて、Gグループの活動



を行いました。実に半年ぶり
の活動です。今回は、成岡宏
晃司祭から教会の大掃除の依
頼を受け、9人の参加者が集
まり作業を行いました。主な
収納拠点をチームに分かれて
きれいにしていきますが、長
い間手を付けていない倉庫や
キッチン、やはり分厚いほ
こりが溜まっており、小さな
住人もいるため足を踏み入れ
るには多少の勇気を要しまし
た。しかし、Gグループのフツ
トワークの軽さを生かし、力
自慢と整理上手に分かれてど
んどんと物を運び出し、分別

していきます。
そして、午後
5時ごろには
すべての物を
分別し終える
ことができました
ことのできま
した。作業前と後とを比べ
て、自分たちの教会もこのよ
うに整理整頓された空間であ
りたいと胸に刻んだ瞬間でし
た。夜は教会の集会スペース
をお借りして、たこやきパー
ティを楽しみ、晴れやかな気
持ちで解散しました。次回の
活動は未定ですが、毎回様々
なメンバーが集って一つの目
標に取り組むこの機会を大切
に、一步一步活動していきた
いと思います。

(かやま ゆうき・川口基督
教会信徒)

日本国際ギデオン協会会長就任にあたって

全国会長 ステパノ 高田 須磨雄



その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。

(詩篇19:5)

主の御名を讃美いたします。「国際ギデオン協会」の唯一の目的は、聖書の贈呈によって「人々をイエス・キリストの救いに導く」ことです。

さて、私事で恐縮ですが、日本国際ギデオン協会の全国大会が今年は7月に神奈川県横浜市で行われ、取るに足らない、欠けた器の私が全国会長に推挙されました。私は高校2年生のとき、ギデオンの聖書によって教会に導かれ、救われました。2004年2月に当時的大阪聖三一教会の牧師であられた内田 望司祭

のご推薦を受け、ギデオン協会への入会が許されました。

国際ギデオン協会は、現在200の国と地域で男女合わせて約27万人の会員の手によって、101の言語に翻訳された聖書が、毎年9千万冊ほど贈呈され、ホテル等にも備え付けられております。これは神様のお恵みと、ご支援くださる皆様がたのお祈りの賜物と心より感謝を申し上げます。そして我が国では全国で2千人の会員(うち聖公会の信徒は会員45人)で、昨年は57万冊の聖書を贈呈することができました。感謝でございます。殊に日本聖公会大阪教区では多くの教会から献金を賜り、聖書購入資金として使わせてもらっており、現在8人の会員がこの働きに関わっております。

しかし、会員の高齢化で働き人が減る傾向にあります。聖書をより多く贈呈するには、聖書購入資金と共に、働き人

が必要です。

これまでに
も大変お世話
になりました。

したが、今

後も私たちのこの働きに共に協力してくださる新しい会員をお願いするとともに、引き続きお祈り、ご支援をよろしくお願いいたします。

(たかだ すまお・大阪聖三一教会信徒)

.....

世界の窓

○米朝の軍事衝突危機に教会指導者が対話を要求

韓国と米国の教会指導者達は、米朝の政治指導者の争議に對して対話すること

を呼びかけている。

また、この動きとは別に韓国と米国の両キリスト教協議会は、キリスト者や政治家に平和を求めるように呼びかけている。彼らは米国に「軍事的威嚇と制裁を即刻中止し、北朝鮮と平和的対話ができる状況を作り出すように」と要請している。また、彼らは全世界の非核化の一環としての、

米朝の非核化を要求するとしている。一方、米国のキリスト教協議会は38の教団・教派から構成され、ドナルド・トランプ大統領への公開書簡を準備している。この書簡は執筆時点で1100人以上の署名を集め、「米朝間の緊張の高まりへの深刻な懸念」を表すものとなっている。内容としては「我々は金正恩の不適切な言葉遣いと軽率な態度を認識している。しかしながら、

平和のために、公的な場での挑戦的な言葉とツイッターをやめて、自由な世界のリーダーとして民主主義を追求していただきたい」と言ったような自制を求める要望となっている。

(Anglican Communion News Service, September 29th, 2017)

○米国聖公会総裁主教がラスベガスの犠牲者に追悼の意を表明

2017年度の総裁主教会議は、ラスベガスで発生した銃乱射事件への追悼声明と書簡を発表することで開始された。この事件は現時点で、58

人の死者と500人以上の負傷者が報告されている。カンタベリ大聖堂で執り行われた夕の祈りは、米国聖公会総裁主教による司式がなされ、静寂の中で深い黙想の時を持って始められた。マイケル・カリ

ー総裁主教の祈りは以下の通りである。「主よ、あなたはすべての創造主であり、私達

はすべてあなたの子供です。ひとりが喜べば皆が喜び、ひとりが苦しめば全員が苦しみます。今夜、我々は悲しみを

持つてあなたのみ前に参りました。あなたの58人の子供達が我々と共にいないからです。そして500人以上のあなたの子供達が体と心に深い傷を負いました。あなたの子供が彼らの命を奪ったのです。彼らは

我々の姉妹であり兄弟です。彼らはあなたの子供です。そのため我々は、あなたのために悲しみに満ちた心で参りました。あまりの悲しみに言葉もありません。どうぞ奪わ

れた命を主がお受けください。そしてあなたの愛の中で休ませあなたの栄光の中に引き上げてください。また、嘆き悲しむ遺族の心を慰め、力を与

(次頁3段目につづく)

公 示

救主降生 2017 年 8 月 1 日
日本聖公会大阪教区
主教 アンデレ 磯 晴久

下記の人事異動を発令いたします。

主教 アンデレ 磯 晴久

司祭マルチン韓相敦の休暇終了帰任に伴い、
高槻聖マリヤ教会管理牧師の任を解く。

司祭 ペテロ 岩城 聰 (退)

高槻聖マリヤ教会における囑託司祭としての
主日勤務の委嘱を解く。

司祭 ペテロ 松山龍二 (退)

高槻聖マリヤ教会における囑託司祭としての
主日勤務の委嘱を解く。

救主降生 2017 年 8 月 23 日
日本聖公会大阪教区
主教 アンデレ 磯 晴久

下記の人事異動を発令いたします。

司祭 ヨシュア 原田光雄

2017 年 8 月 31 日付け 東豊中聖ミカエル教会
牧師・聖ミカエル保育園園長の任を解く。

2017 年 9 月 1 日付け 大阪教区主教座聖堂付
とする。

恵我之荘聖マタイ教会および富田林聖アグネス
教会の協力司祭として主日勤務を命じる。

司祭 ジョイ 千松清美

2017 年 9 月 1 日付け 東豊中聖ミカエル教会
管理牧師・聖ミカエル保育園園長に任命する。

司祭 ダニエル 山野上素充 (退)

2017 年 9 月 1 日付け 司祭ジョイ千松清美の
もと東豊中聖ミカエル教会において囑託司祭と
して主日勤務することを委嘱する。



高槻聖マリヤ教会へ赴任

はじめまして

司祭 マルチン 韓 相敦
ハン サンドン

「主キリスト・イエスから
の恵み、憐れみ、そして平和
があるように。」

(一テモテ 1:2)

私は大韓聖公会ソウル教区
から 2017 年 4 月 1 日、大
阪教区高槻聖マリヤ教会の牧
師として赴任した、司祭マル
チン韓 相敦です。4 月 1 日

付けで人事発令がありました
が、都合により 8 月からの着
任となりました。2006 年
6 月、宣教協同者として大韓
聖公会ソウル教区から京都教
区にまいりました。翌年 3 月
まで、研修時間を持ちまして
4 月から京都教区京都聖ヨハ
ネ教会へ赴任、2015 年 3
月まで大変お世話になりました

(前頁よりつづく)

えてください。負傷した人々
の傷を癒してください。あな
たの癒しの力によって、より
良い道を示してください。裁
くことではなく愛することを
教えてください。あなたの家
族を癒し、あなたの被造物を

た。2015 年 4 月から京都
教区富山聖マリヤ教会の牧師
と富山聖マリヤ保育園のチャ
プレンとして 2 年間勤めまし
た。

2007 年から中学 2 年生
の息子、高校 2 年生の娘、そ

癒してください。そして、私
達をあなたの平和の器として
ください。あなたの深く愛す
るこの世界のために死んで甦
ったみ子イエス・キリストの
み名によって、すべての家族
のためにまた、すべての被造
物のために祈ります。アーメ

して連れ合いと 4 人家族でし
たが、今は、子供たちが社会
人になって独立し、妻ルシア
と二人で日本の生活をしてお
ります。

約 10 年間、日本で生活した
ものの、まだまだ新たに学ぶ

ン」

(Anglican Communion
News Service, October
2nd, 2017)

司祭 ヤコブ 松平功
(まつだいら いさお、守口
聖オーガスティン教会牧師、
聖ルシヤ教会管理牧師)

ことが多くあるのが現実です。
大阪教区と高槻聖マリヤ教会
の信仰共同体の一員となり、
ともに信仰生活を過ごしてい
ます。どうぞよろしく願いま
します。

「信仰によってあなたがた
の心の内にキリストを住まわ
せ、あなたがたを愛に根ざし、
愛にしっかりと立つ者として
くださるように。また、あ
なたがたがすべての聖なる者
たちと共に、キリストの愛の
広さ、長さ、高さ、深さがど
れほどであるかを理解し、人
の知識をはるかに超えるこの
愛を知るようになり、そして
ついには、神の満ちあふれる
豊かさのすべてにあずかり、
それによって満たされるよう
に。」(エフェソ 3:17-19)
(高槻聖マリヤ教会牧師)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

9月13日(第11回定例)

I. 主教報告

*奥村貴充司祭と高谷泉姉の婚約式が10月9日(月)に聖贖主教会で行われる。聖婚式は主教座聖堂で来年1月8日

*松岡虔一司祭は富田林聖アグネス教会で礼拝中に転倒され、自宅で療養されているが順調に回復されている。
*原田光雄司祭は聖ルシヤ教会牧師館に転居された。
*9月23日(土)、神戸教区主教按手式・就任式・着座式挙行。磯主教は同日をもって管理主教の任を終了。

公 示

救主降生2017年10月1日

日本聖公会大阪教区

教区会議長 主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第119(定期)教区会を、
下記のように招集します。

記

- ◆会期 2017年11月23日(木)
午前9時(開会聖餐式)から午後5時
- ◆会場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)
会 館
大阪市西区川口1丁目3番8号

なお、上記教区会の書記に下記の者を指名します。

書 記 司祭 ヤコブ 義平雅夫
執事 ペテロ 金山将司

II. その他諸報告

*2013年に退職されたオーガスチン関川頌康執事に関して、以下の報告がなされた。「主教就任以来、執事関川頌康氏と話し合いの時を持ち、長年に亘って、同氏とご家族が経験した辛苦について、教区として牧会的配慮に欠け、同氏に寄り添うことが出来なかった面があったことに気付かされた。大阪教区牧役者の司牧に責任ある主教として、そのことを謙虚に受け止め、同氏とご家族にお詫びをし、遺憾の意を表した。今後は同氏との信頼関係を更に深めることに努めたい」

*九州北部豪雨被災地支援に関して、中野准之司祭(九州教区)が体調不良のため、現在ボランティアの受け入れはストップしている。

*ヒューム・ユーンワン聖職候補生、山本直樹神学生の夏季実習についての報告。

*聖公会生野センターより借入金申し込みがあり、教役者互助会が二百万円を来年3月まで無利息の条件で貸し付けた。

III. 協議事項

*大阪・京都教区特別協働教区運営委員会より、改めてニュースレターの発行を予定。

*京都の「新宗連」メンバー約20人が10月30日(月)午前、川口基督教会を見学の予定。

*信徒奉事者として、大阪聖三一教会信徒、寒河江研司氏の追加推薦を確認。

*教区礼拝関連事項の確認。

*定期教区会における、書記(義平雅夫司祭と金山将司執事)、上程議案(規則改正)等について確認。

*教区館にAED(自動体外式除細動器)を設置することに同意、セコムとのリース契約とする。

*ウイルソン・ウォーレン司祭が来年1月、アッシジ巡礼の旅に参加することを了承。留守中は磯主教が芦屋聖マルコ教会を管理。

*守口聖オーガスティン教会の宣教企画行事に対する補助を一部承認。

*来年度の教役者人事につき、情報共有と意見交換。

教会・施設の動き

大阪聖三一教会

○8月13日(日) 平和朗読会を行った。「ドームがたり」お母さんの祈り」を子どもたちと朗読。「糸」の演奏に合わせた手話も。

聖ルシヤ教会

○11月5日(日) 午後2時より第5回チャペルコンサートを開催します。出演はパルフェ・ムジーク・アカデミー。

大阪聖愛教会

○11月12日(日) に聖愛フェスティバルを、11月26日(日)にはチャリティコンサートを開催いたします。

祝 受 洗



○西宮聖ペテロ教会

マリア・セシリア

堀 美和

祝 初 陪 餐



○西宮聖ペテロ教会

マリア・セシリア

堀 美和

(9月10日)

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 11月8日(水) 10:30～

於：主教座聖堂（川口基督教会）

説教者 ヤコブ 義平雅夫司祭

- 1日 司 祭 ジェームズ・ウイリアムス (1920 英)
 3日 司 祭 パウロ 山本 早太 (1988)
 4日 司 祭 ヨハネ 張本 栄 (チャン・ボンヨン 1966)
 宣教師 コンスタンス・メアリー・リチャードソン (1968 英)
 5日 司 祭 パウロ 後藤 光敏 (1971)
 9日 司 祭 ヨハネ 有近 康男 (1991)
 11日 司 祭 ヨハネ 伴 君保 (1956)
 12日 宣教師 ドーラ・レイチェル・ハワード (1947 英)
 17日 宣教師 ガートルード・E・コックス (1906 英)
 19日 司 祭 ヨハネ 側垣 正巳 (1997)
 20日 司 祭 ホレイス・ジョージ・ワレン (1950 英)
 21日 主 教 ホレイス・H・プライス (1941 英)
 22日 司 祭 ベルナルド 小穴 藤雄 (1971)
 23日 司 祭 北川 千代吉 (1939)
 30日 宣教師 アミー・キャロライン・ボサンケット (1950 英)
 ?日 宣教師 アンナ・マリア・タブソン (1940 英)

◇ 12月13日(水) 10:30～

於：主教座聖堂（川口基督教会）

説教者 施洗者ヨハネ 山本眞司祭

- 1日 宣教師 エディス・イライザ・ソープ (1930 英)
 2日 主 教 チャニング・モア・ウイリアムス (1910 米)
 4日 司 祭 テモテ 山本 登 (2009)
 13日 司 祭 ジョン・キャリー・アンブラー (1946 米)
 16日 司 祭 尾形 虎三 (1945)
 17日 司 祭 アーサー・ラザフォード・モリス (1912 米)
 宣教師 エミリー・ビショップ・ボウルトン (1926 英)
 18日 宣教師 ジェーン・キャスパリ (1888 英)
 19日 司 祭 ダニエル 小池 虔二 (2014)
 22日 伝道師 清田 海一郎 (1904)
 司 祭 近重 利澄 (1934)
 27日 司 祭 ヘンリー・レナード・ブレビー (1942 英)
 28日 伝道師 大塚 惟明 (1928)
 29日 司 祭 マルコ 伊崎 八東 (1978)
 30日 宣教師 オードリー・M・ヘンティー (1970 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂（川口基督教会）で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

祝受按



○大阪聖三一教会

プリスカ

モニカ

エノク

吉井 奈那 (かおる)
 三宅 薫 (かおる)
 大西 涼太 (りょうた)
 (10月8日)

○聖贖主教会

テトス

内藤 昇 (のぼる)

大阪聖三一教会

アンデレ

則定 律雄 (のりさだ りつお)

大阪聖アンデレ教会

アンデレ

田中 敏郎 (たなか としろう)

テレサ

稲山 加世 (いなやま かよ)

ヨセフ

相楽 一郎 (さがら いちろう)

聖贖主教会

テトス

内藤 昇 (のぼる)

大阪聖三一教会

アンデレ

則定 律雄 (のりさだ りつお)

大阪聖アンデレ教会

アンデレ

田中 敏郎 (たなか としろう)

テレサ

稲山 加世 (いなやま かよ)

○堺聖テモテ教会

マリア

永井 美子 (ながい みこ)

堺聖テモテ教会

サラ

柏木 幸子 (かしわき さちこ)

大阪聖パウロ教会

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

永井 美子 (ながい みこ)

柏木 幸子 (かしわき さちこ)

堺聖テモテ教会

サラ

柏木 幸子 (かしわき さちこ)

大阪聖パウロ教会

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

パウロ

山野 忠利 (やまの ただとし)

大阪 JOCS
クリスマス
チャリティーコンサート

日時 2017年12月16日(土)
午後2時から(開場1時半)

会場 大阪聖パウロ教会礼拝堂

出演 オルガンとお話 土橋 薫

入場は無料です。ご来場をお待ちしております。

主催 大阪 JOCS

共催 日本聖公会大阪聖パウロ教会